

でとうございます



賀 正

「町村の格差を乗り越えて」

積丹町長 松 井 秀 紀

あけましておめでとうございます。
平成24年の新しい年を町民の皆さんとともに元気で迎えられることを嬉しく思います。

町民の皆さんには、7年間の郷土の財政建て直しの道のりを教訓に、「健全財政の維持」と「行政サービス水準の維持」、そして「地域の活性化」という私たちの共通の3つの課題の克服の願いに、いつも議員の皆さんとともに真剣に耳を傾け、ご協力をいただいております。

昨年は、町民の皆さんをはじめ、積丹を故郷とする道内外の多くの皆さんに、積丹町の財政再建を憂いご心配をおかけしてきました。町の累積赤字10億4,600万円が、昨年9月議会の平成22年度決算の認定によって、ようやく解消の願いが叶いました。

また、東日本大震災と福島原発事故という未曾有の国難に遭遇し、私たちは改めて、郷土愛の大切さと、自治体自らの防災意識の強化の重要性を学びました。

当町でも、余別管内を中心に1時間68ミリという記録的な集中豪雨に見舞われ、神岬地区や神威岬に見る自然災害の猛威の傷跡の中に、一人の犠牲者も出さなかったその陰

で、消防団員と地域の皆さんの使命感に燃えた懸命の水防活動の姿がありました。

そうした町民の皆さんの、深いご理解と温かいご支援、ご協力に心から感謝とお礼を申し上げます。

新しく迎えた平成24年は、震災からの経済社会の再生を柱に、国際競争の中での日本の生き残り、国家財政と社会保障制度の立て直しなどの国政論議を注視しながら、「自己決定と自己責任」という自治体の共通の理念の下に、住民と行政の協働の精神を基本としたまちづくりをめざす道内144の町村が、財政力の格差を乗り越えて、地域の活性化に住民の英知を結集して競い合い、また、新たな防災対策の充実に違いが高まるそんな年になります。

私は、郷土の優れた自然や資源を大切に、国や道、民間機関や積丹ファンの方々との信頼関係を大切にしながら、他の町村との格差の縮減や当町多くの課題の一つひとつの解決に努力を傾けてまいりたいと思います。

希望に輝く新春を迎え、町民の皆さんのご多幸とご健勝を心からご祈念し、年頭のご挨拶いたします。

2012年 新年おめ



迎春

「この町に住んでよかったと思う町づくり」

積丹町議会議長 岩本幹兒

町民の皆さん、新年あけましておめでとございます。皆さんそれぞれの環境の中で、平成24年の新春を健やかに迎えることと存じます。

常日頃、町民の皆さんの深いご理解と温かいご支援、ご協力のもとに議員活動を通じて町政推進に精励できますことに対し、心から感謝とお礼を申し上げます。今年も決意を新たに、地方自治の振興、発展に向け一層精進してまいりたいと思っております。

長引く景気低迷により、雇用情勢は悪化し、地域の活力は減退の一途をたどっている上に、昨年3月に発生した東日本大震災と原発事故は、日本に広範で甚大な被害をもたらした。その後の度重なる余震、8月、9月のゲリラ豪雨、台風、大雨洪水等々、自然の力の圧倒的な巨大さ、容赦ない荒々しさと、人間の営みのはかなさ、科学技術の限界などを感ぜさせました。

しかし、その一方で大震災以来、「絆」という言葉はしきりに取り上げられ、人の命の大切さ、夫婦の絆、親子の絆、人と人との絆、地域の絆などを今一度、日本人として失われつつある誇り、プライドをしっかりと見つめ直していこうという意識も高まりつつあります。

「同じ国、同じ地域に生まれ育ち、一日、半時の出会いで行動を共にするのも、すべて前世からの因縁、結縁であるから感謝し大切にしなければならぬ。」とは、聖徳太子の言葉だと言われておりますが、「縁」のありがたさ、「絆」の大切さを説いておられます。

まさに先行きが不透明で、何が起こるか分からない、予想が付きにくい厳しい時代の今日では、とにかく直面する課題に全力で取り組み、その一つ一つの積み重ねがよい結果を生み出すことになると思っております。行動するしかないと思っております。

それぞれの分野で懸命に暮らしている町民の皆さん、今年も皆さんが何よりも健康でありますように、そして、共に助け合い、共に支え合って、この町に住んでよかったと思ふ町づくりを目指し、この厳しい時代を乗り越えてまいりましょう。

町民の皆さんのご健勝とご多幸、さらには平成24年が積丹町にとってよりよい年であることをご祈念申し上げます。今年もよろしくお願いいたします。



辰年生まれの小学生に聞きました

ぼくの初夢 わたしの初夢

新しい年を迎え、今年の干支である辰年生まれの小学生全員に「ぼくの初夢・わたしの初夢」を聞きました。将来やってみたい仕事は？帰ってきた答えは、宇宙飛行士や科学者などどれも子どもらしい明るく希望にあふれるものばかりです。

子どもたちの未来に抱く大きな「夢」。それは、積丹町がいつまでも輝き続ける「希望」であってほしいものです。



野呂 大空さん
美国小6年生

私の将来の夢は、学校の先生になることです。たくさんの生徒に信頼される、いい先生になりたいです。小学校、中学校、高校の先生をしてみたいです。



加藤あすかさん
美国小6年生

私の夢はパティシエになることです。世界を回って素晴らしいおかしを作りたいです。世界一のパティシエになって、すごい賞をたくさんもらいたいです。



小原ほのかさん
美国小6年生

私の将来の夢は、ファッションデザイナーになることです。そのために服や色の事をいっぱい勉強して、可愛くて素敵な服を作りたいです。



岩本あかりさん
美国小5年生

私は、メイクアップアーティストやネイルアーティストになりたいです。なって今どきの女の子をキレイにかわいくモテル女の子にしたいです。



杉野 耀一くん
日司小6年生

ぼくの将来の夢は、宇宙飛行士になることです。銀河系の外に行きたいです。そのために、たくさん勉強をします。



畑谷 守治くん
美国小6年生

ぼくの夢は水泳の平泳ぎで全国大会に行くことです。だから1回1回の練習を大切にしたいです。これから手のかきを速くして練習をがんばりたいです。



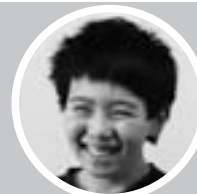
鈴木 琴乃さん
美国小5年生

私のゆめは、介護士の資格をとって老人ホームで1番の介護士になることです。そして、たくさん勉強して、お年よりに頼りにされる介護士さんになりたいです。



佐藤 大介くん
美国小5年生

ぼくは、科学者になりたいです。科学者になったら人工の心臓をつくって、できるだけ生きてみたいです。



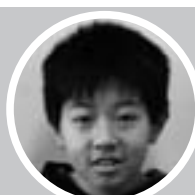
窪内 渉くん
美国小5年生

ぼくは、科学者になりたいです。なったらカマイタチ（真空刃）でなんでも切れる、実験をしたい。あと、南極に行って、氷が溶けるのを防ぎたい。



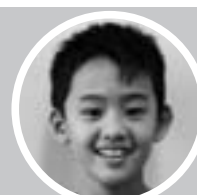
山崎 紗夜さん
美国小5年生

私の夢は、吹奏楽部の先生になることです。吹奏楽部の先生になったら、生徒に一生懸命わかりやすくおしえてあげたいです。



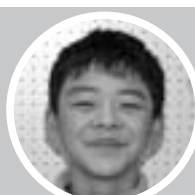
本間 龍輝くん
美国小5年生

僕の夢は、大型車輛の整備士になる事です。最近、事故のニュースを多くきくので、車輛を安全に整備して交通事故をへらして安全にしたいです。



長谷川 颯くん
美国小5年生

僕の夢は、なるべくお金がいっぱいもらえる店ではたらくことです。理由は、車を買ったり家を買ったりできるからです。



杉野 弘幸くん
日司小5年生

ぼくは、将来農協で働く人になりたいです。できれば、積丹の農協がいいです。最近、農業に興味をもって、農業に関わった仕事がしたいからです。



芳村 由羽さん
美国小5年生

私の夢は、野生動物を保護する仕事をすることです。動物が大好きなので、絶滅するかもしれない動物を環境に合ったものにして、動物にやく立っていきたいです。

大正5年生	(96歳)	3人
昭和3年生	(84歳)	38人
昭和15年生	(72歳)	46人
昭和27年生	(60歳)	43人
昭和39年生	(48歳)	28人
昭和51年生	(36歳)	18人
昭和63年生	(24歳)	8人
平成12年生	(12歳)	16人

(人数は住民基本台帳登載人数
(平成23年12月1日現在))

町の辰年生まれの方々は200人で内訳は次のとおりです。